

 このテストのゴール: must not(禁止)と don't have to(不要)を場面で使い分けられる

記入式。正しい形を自分で作って書きます。まちがえた問題は、テストのあとが本番——裏面のふり返しまでで1セットです。

1

()に正しい形を書こう。※そのままでいい語もある！(各3点・計12点)

(1) 自転車のルール	You()wear a helmet.(1語)
(2) 図書室＝飲食禁止	You()()eat here.(禁止・2語)
(3) 日曜＝登校不要	We()()()come to school on Sunday.(不要・3語)
(4) 友だちの都合	He()()practice today.(2語)

2

対話を完成 留学生に校則を説明。()に1語ずつ。(各2点・計6点)

A: You(①)change your shoes at the entrance. It's a rule.

B: I see. Do I(②)to bring lunch?

A: No, you don't. We have school lunch. But you(③)not use your phone in class.

3

自分の番 しなければならないこと+しなくてよいことを1文ずつ(must / don't have to)(2点)

must / have to の10分小テスト(発展・20点)【解答】

丸つけをしたら、まちがえた問題に✓をつけよう

1 場面で選ぶ／正しい形

(1) must (2) must not (3) don't have to (4) has to

(2)禁止と(3)不要——同じ否定でも意味が正反対。場面で決める。

2 対話を完成

① must ② have ③ must

②はhave to の疑問(Do I have to ~?)。mustの疑問・否定はhave toが代役になることが多い。

3 自分の番(例)

We must clean our classroom. / We don't have to wear caps.

内容は自由。文法が正しく、条件を満たしていれば正解にする。

☆採点と使い方 配点=1:各3点/2:各2点/3:2点(計20点)。16点以上=合格ライン、12点未満=定着ドリルの「まちがい診療所」からやり直すのがおすすめ。同じ場面・同じ測る力で基礎・標準・発展の3枚があるので、再テストや個別対応は別の難易度で行えます。